

**第三学区 町内会、コミュニティ協議会に関する  
アンケート調査結果 (ver1.07)**

**2021（令和3）年3月**

**コミ誌「ふれあい」特集班**

### 【アンケート調査の目的】

私たちが暮らす、鶴岡市第三学区は、市街地で最も人口が多く、また市の中心街でもあります。しかしながら昨今では人口減少や少子高齢化が進みつつあります。

また、人々の価値観やライフスタイルも変化しつつある中で、従来の町内会活動の内容、それを支える仕組み、町内会の運営に携わる方々の考え方も様々かと思えます。

同時に広域コミュニティである「第三学区コミュニティ協議会」も、その目的、存在意義、運営の方法、組織構成、事業内容など、町内会同様、周囲の状況変化にどれだけこたえているのか、これから数年間のビジョンづくりはされているのか、それが地域住民の方々にも伝わっているのかなど、課題は数多くあるものと考えます。

今（2020年）は新型コロナウイルスの影響から町内会も、コミュニティ協議会も多くの行事を中止いたしました。

このような状況下であるからこそ、町内会やコミュニティ協議会に関する意識や、現状を把握し、これからのコミュニティのあり方、町内会のあり方について参考にさせていただくためのものとして実施したものです。

なお、今回のアンケート対象は「小中学生の保護者の皆さん」に限定しております。コミュニティ協議会から保護者の皆様の声を直接聞く、という機会は従来、ほとんどなく、「若い」年代層から見た、町内会、コミュニティ協議会の活動に対する捉え方を把握したいという考えから、アンケート対象を限定しての実施といたしました。

### 【実施期間】

- 2020年11月25日配布開始～12月13日を締め切りとして回収

### 【実施方法】

1. 調査対象：学区内21町内会にお住いの小中学生の保護者世帯の皆様
2. 世帯数把握：学区内21町内会より、事前に対象となる世帯数を確認
3. 配布方法：各町内会会長宛てに発送。直接回収または町内会等経由での回収

### 【回収結果】

1. 発送数（対象想定世帯数）：875件
2. 回収数：338件（回答者男女構成 男性：29.3%、女性：70.7%）
3. 回収率：38.6%

### 【集計方法】

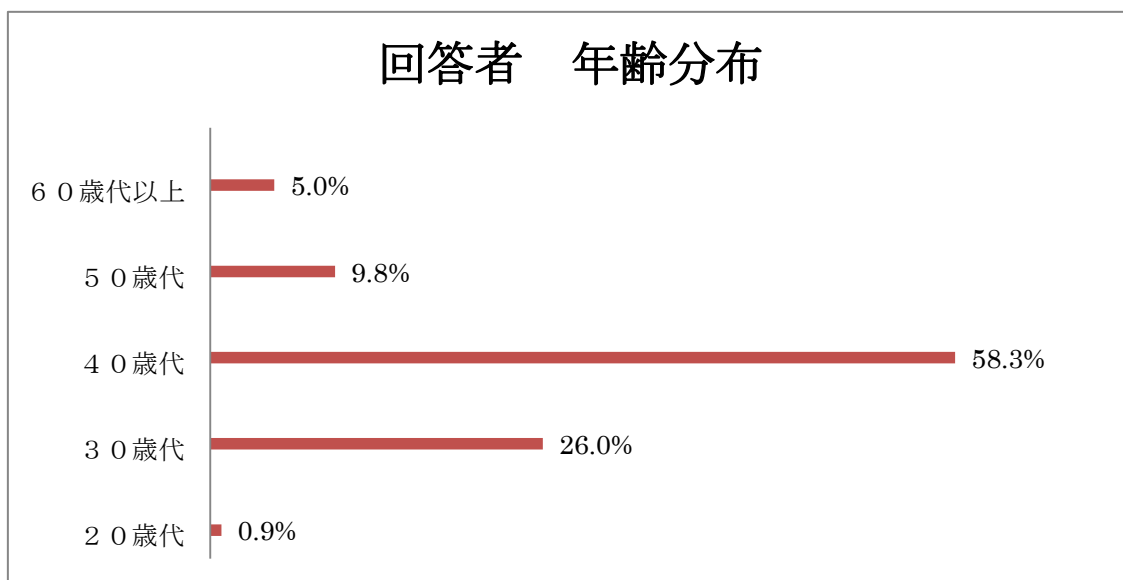
構成比などは小数点第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%にならない場合があります。

### 【アンケート作成・集計】

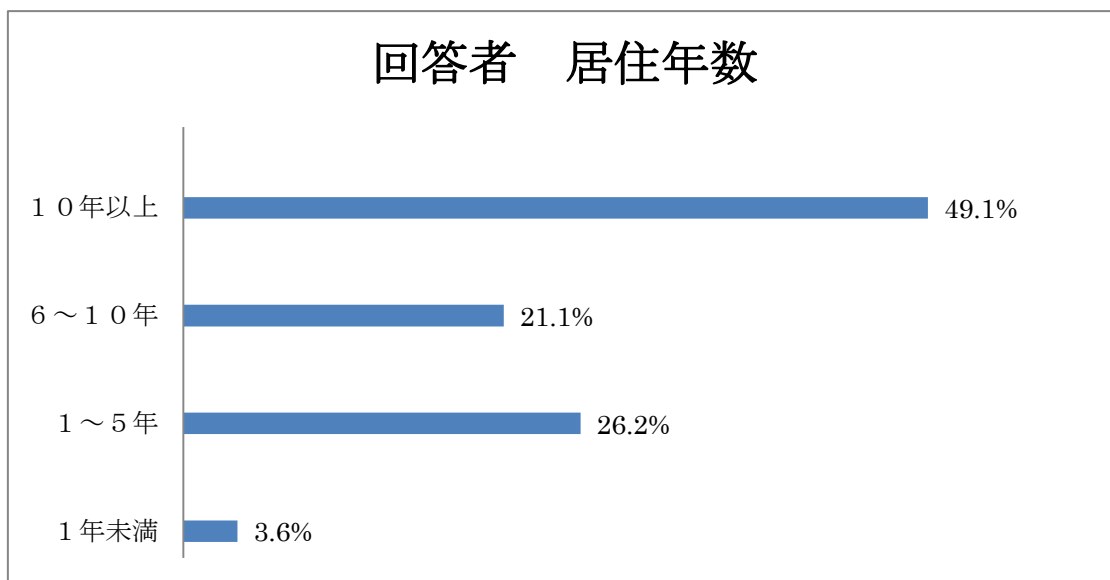
## コミ誌「ふれあい」特集班

【回答者プロフィール】

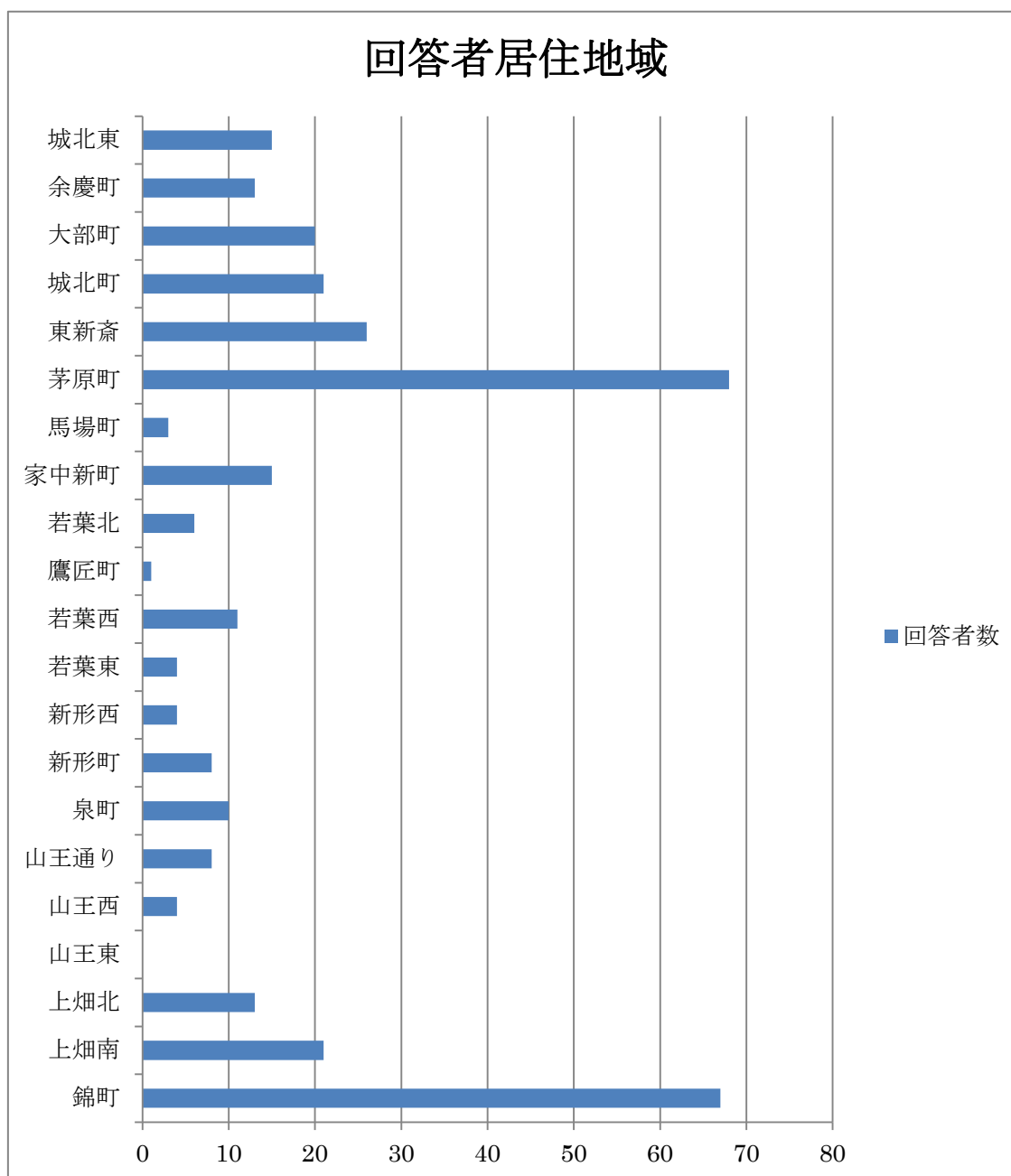
年齢分布



回答者居住年数



## 回答者居住地域



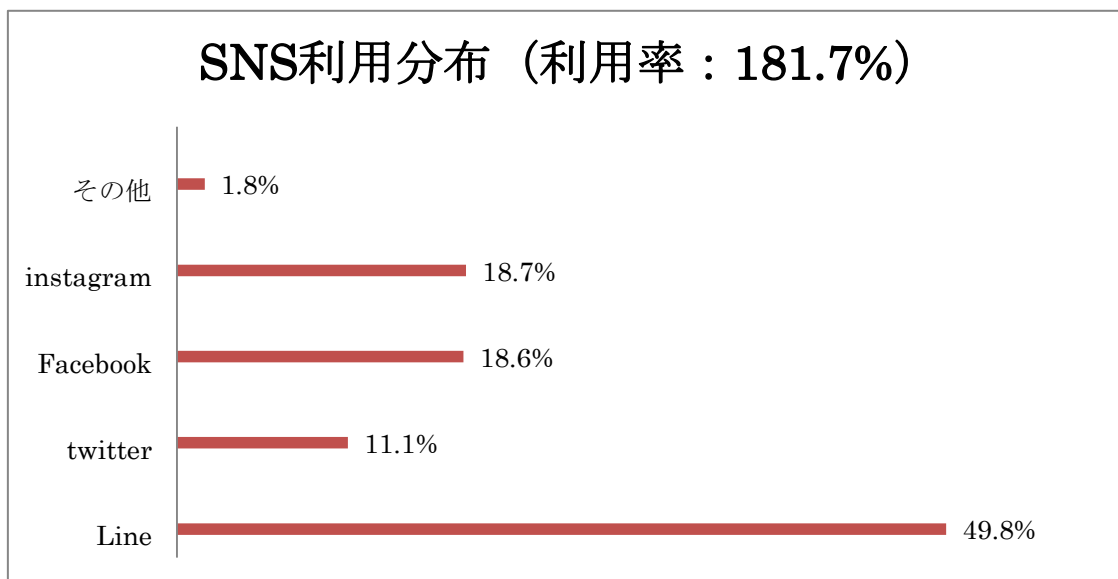
※各町内会によって対象となる「小中学生保護者世帯数」はまちまち。

事前調査で世帯数の回答がなかった3町内会には、世帯数をその町内の世帯数から想定してアンケートを送付。

※アンケート回答の提出は任意、ということで実施いたしました。

※錦町、茅原町が占める比率が大きいです。全体の傾向はこの2つの町内会と他の町内会の傾向に大きな差はありませんでした。(一部、傾向が異なる点は、該当する項目に記載しています。)

## 回答者の SNS 利用傾向（あてはまるものすべてに○）

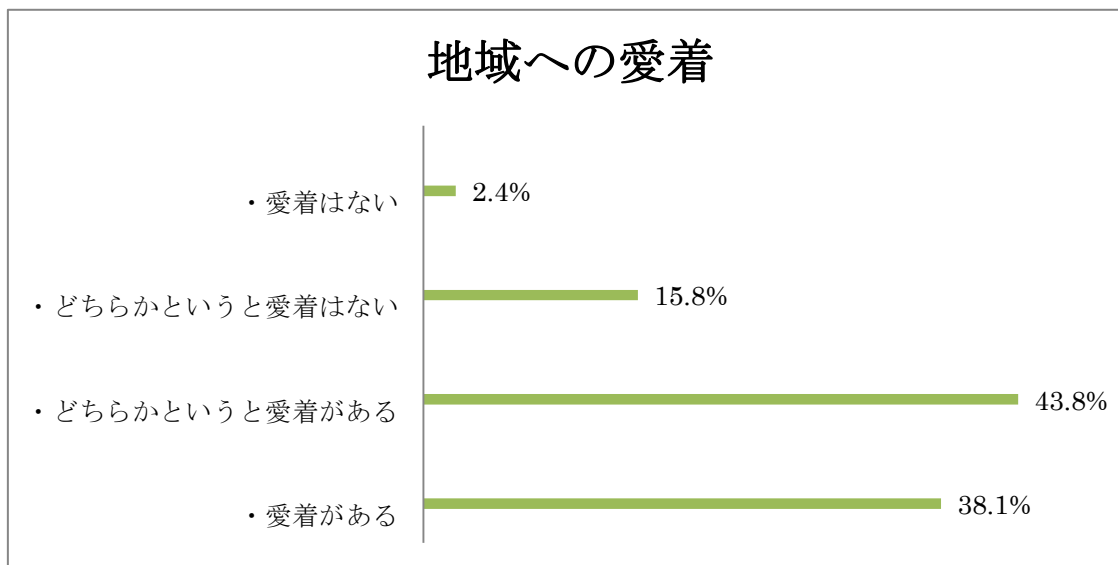


回答者が利用している SNS 傾向を把握するため、利用している SNS すべてに○をいれていただくようにした。

その結果、ひとりで複数（中にはすべて）を使い分けている回答者が多く、利用率も 180% 越えとなっている。また利用されている SNS は Line が圧倒的に多い。

また、「使い分けている」と思われる回答者の中には、主要な SNS 4 種とも利用している方が少なからず見受けられた。

## 地域への愛着



居住年数が長い回答者が多い傾向からか、「愛着がある」、「どちらかというとな愛着がある」と回答する方で80%を超える結果となった。

理由として、利便性を上げる方もいたが、「ご近所とのひとづきあいに満足」という回答が多く見受けられた。

### 【自由記述欄】

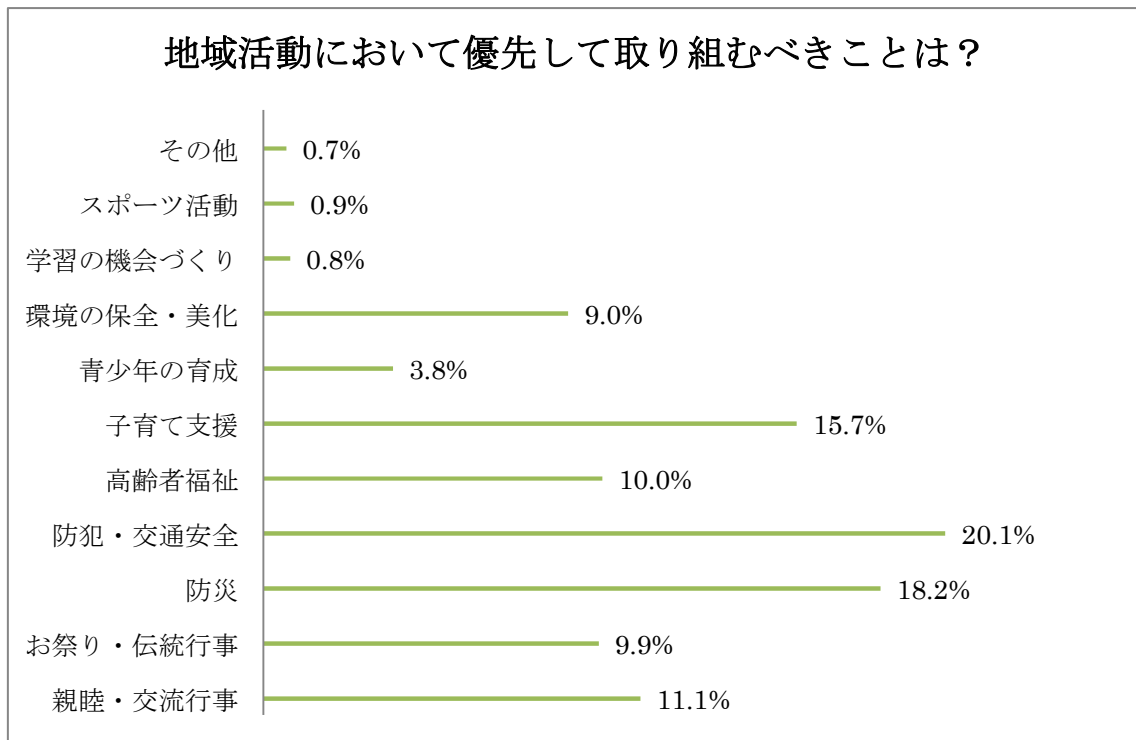
- 生まれ育ったところなので。
- 近所の人親切。町内の方もいい方が多い。
- 買い物などにも便利。
- 子どもの行事などを通じて横のつながりが出来た。
- アパートに住んでいると町の人との交流があまりない。
- まだ住み始めて時間が経っていないので愛着がわくほどではない。

**あなたが住む地域では、地域活動が活発に行われていると思いますか？**

	親睦・交流 事業	お祭り・伝 統行事	防災	防犯・交通 安全	高齢者福 祉	子育て支 援	青少年の 育成	環境保 全・美化	学習の機会 づくり	スポーツ 活動
活発に行われている	68 21.1%	100 30.7%	77 23.8%	83 25.5%	59 18.4%	28 8.8%	23 7.4%	52 16.0%	11 3.5%	23 7.3%
どちらかというと活発 に行われている	142 44.1%	152 46.6%	142 44.0%	135 41.4%	105 32.7%	89 28.0%	70 22.5%	135 41.5%	57 18.4%	82 26.2%
どちらかというとな り活発ではない	27 8.4%	21 6.4%	34 10.5%	32 9.8%	24 7.5%	52 16.4%	53 17.0%	29 8.9%	55 17.7%	49 15.7%
活発ではない	17 5.3%	14 4.3%	15 4.6%	11 3.4%	7 2.2%	40 12.6%	29 9.3%	21 6.5%	48 18.0%	33 10.5%
わからない	68 21.1%	39 12.0%	55 17.0%	65 19.9%	126 39.3%	109 34.3%	136 43.7%	88 27.1%	139 44.8%	126 40.3%

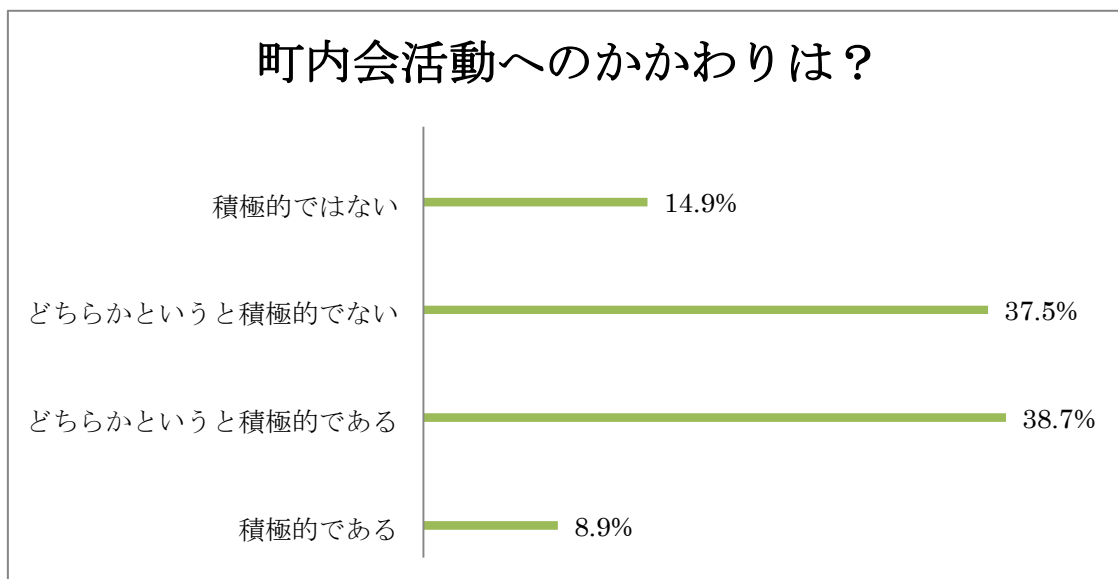
※項目ごとで回答が多かったところは赤字で表示している。

**地域活動においてもっとも優先して取り組むべきことは？（3つまで）**



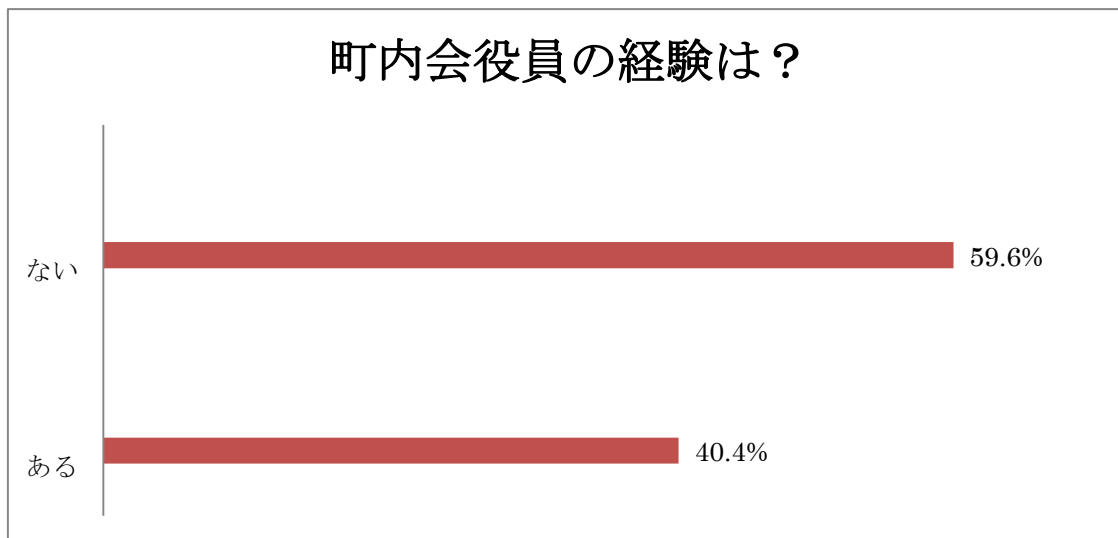
今回の回答者を多く抱える「錦町」、「茅原町」を含めた全体での集計結果は上記のとおり。逆にこの2町内を除くと「防災＞防犯・交通安全」という傾向が見られた。回答者が「子育て世代」ということもあり、「安全、安心して暮らせる」ことと「子育て支援」が上位に来たと思われる。

### 町内会活動へのかかわりは？



居住年数が短い方は、比較的「積極的ではない」という回答傾向があったが、居住年数が長くても「積極的である」、「積極的でない」と分かれての回答があった。

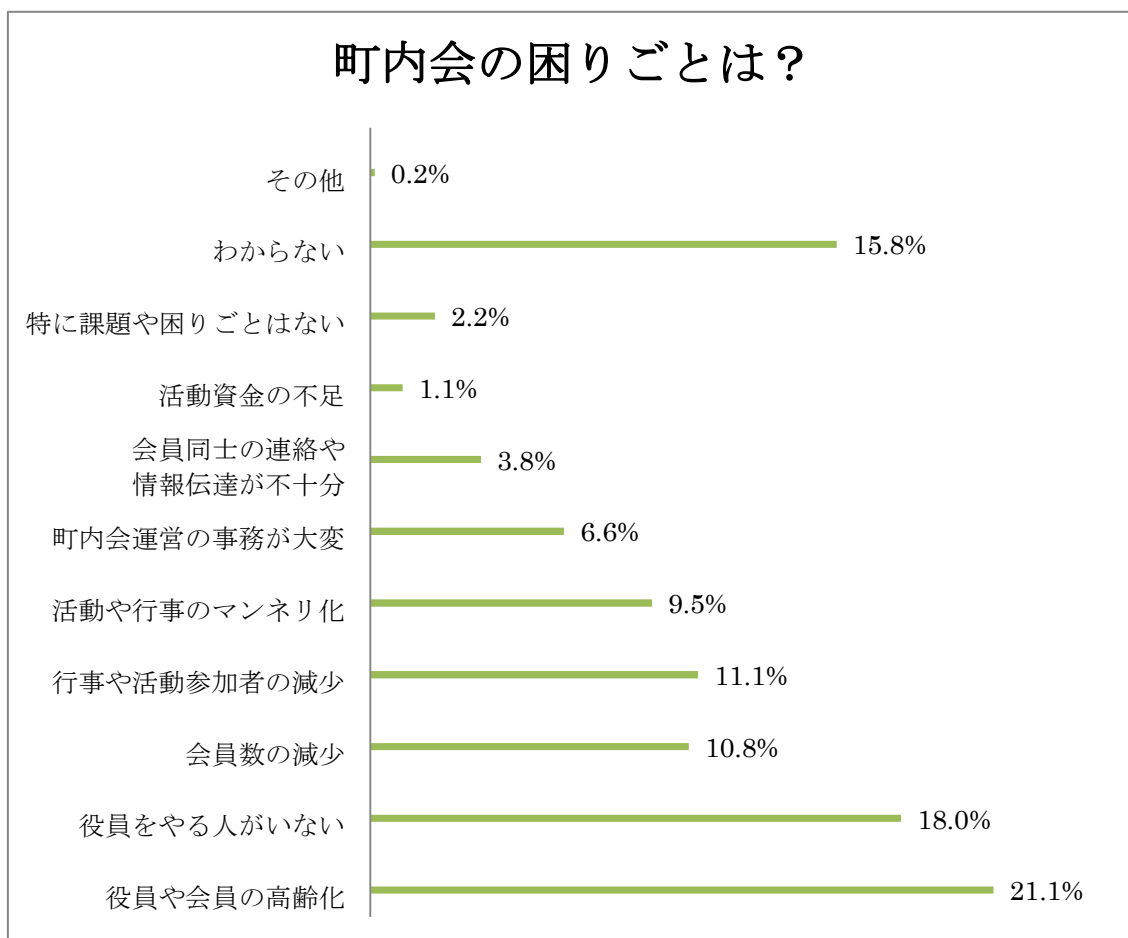
### 町内会役員の経験は？



新興住宅地を抱え、人口が増加傾向にある町内会の場合は、「役職経験がない」という回答が上回ったが、それ以外は「ある」、「ない」が拮抗している町内会もあった。



## 町内会の困りごとは？（いくつでも）



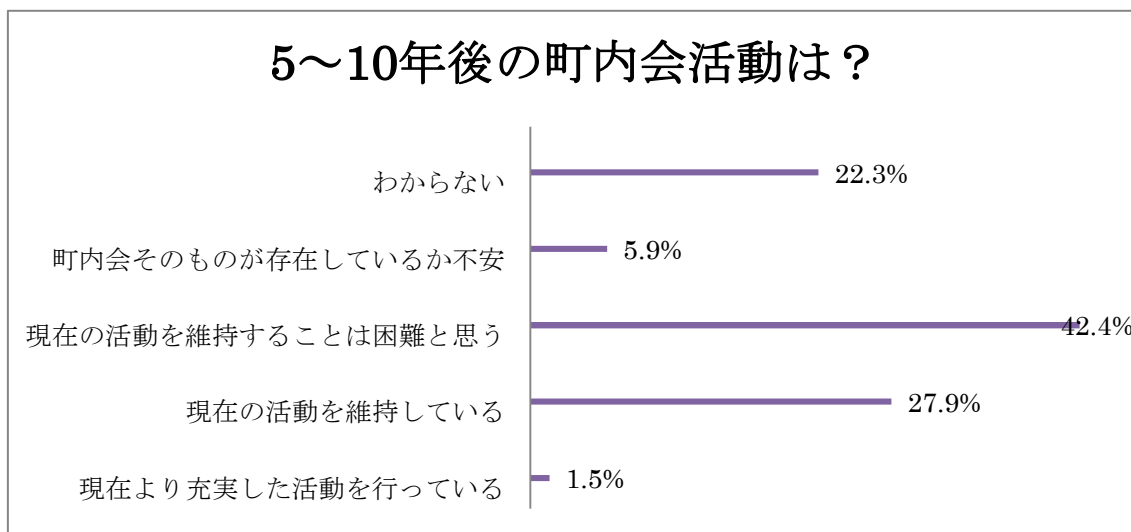
「わからない」と回答した方が比較的多いが、前述の「役員経験がない」とした回答者層はおおむねここでも「わからない」と回答する傾向が見受けられた。

あとは「役員や会員の高齢化」、「役員をやる人がいない」という回答が上位を占めた。

### 【自由記述欄】

- 年功序列の色合いが濃く、若手（青年）の声が反映しにくい感じ。
- 安否確認など企業（宅配弁当業者など）を有効に使うって町内会の負担を減らしてはどうか？
- 役員の顔ぶれがいつも同じ。ワンマン運営の傾向がある。
- 役員が高齢なので行事や活動が高齢者向き（予算も）。
- 社会変化に高齢の役員がついていけず、自己の考えにとらわれた運営をしている。
- 若い世代離れを若い世代のせいにし、現状を変えようとしない。
- 町名が同じなのに町内会が分割しているのは障害の方が多い。
- 町内会と下部団体（青年部や子ども会）との連携の悪さ。

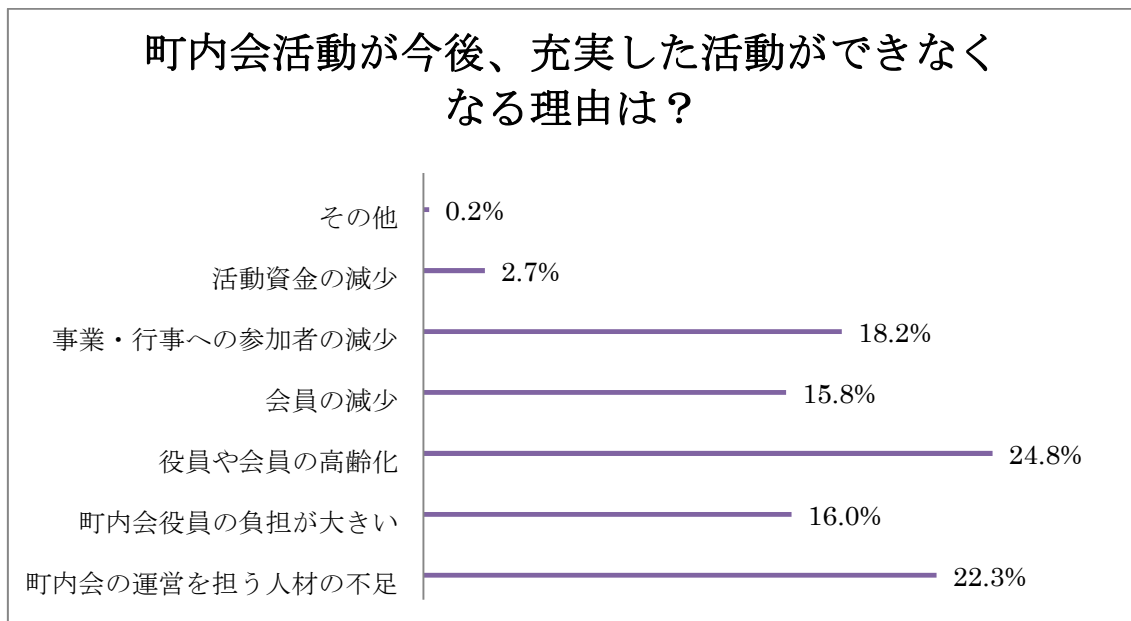
## 5～10年後の町内会活動は？



錦町、茅原町の回答者が入ると、「現在の活動を維持している」という回答比率が若干向上した。反対にこの2町内会を除いた場合、「現在の活動を維持することは困難」との回答傾向がより高かった。

「わからない」との回答は、前述の「役員になったことがない」という層が比較的選択をしている。

町内活動が今後、充実した活動ができなくなる理由は？（いくつでも）

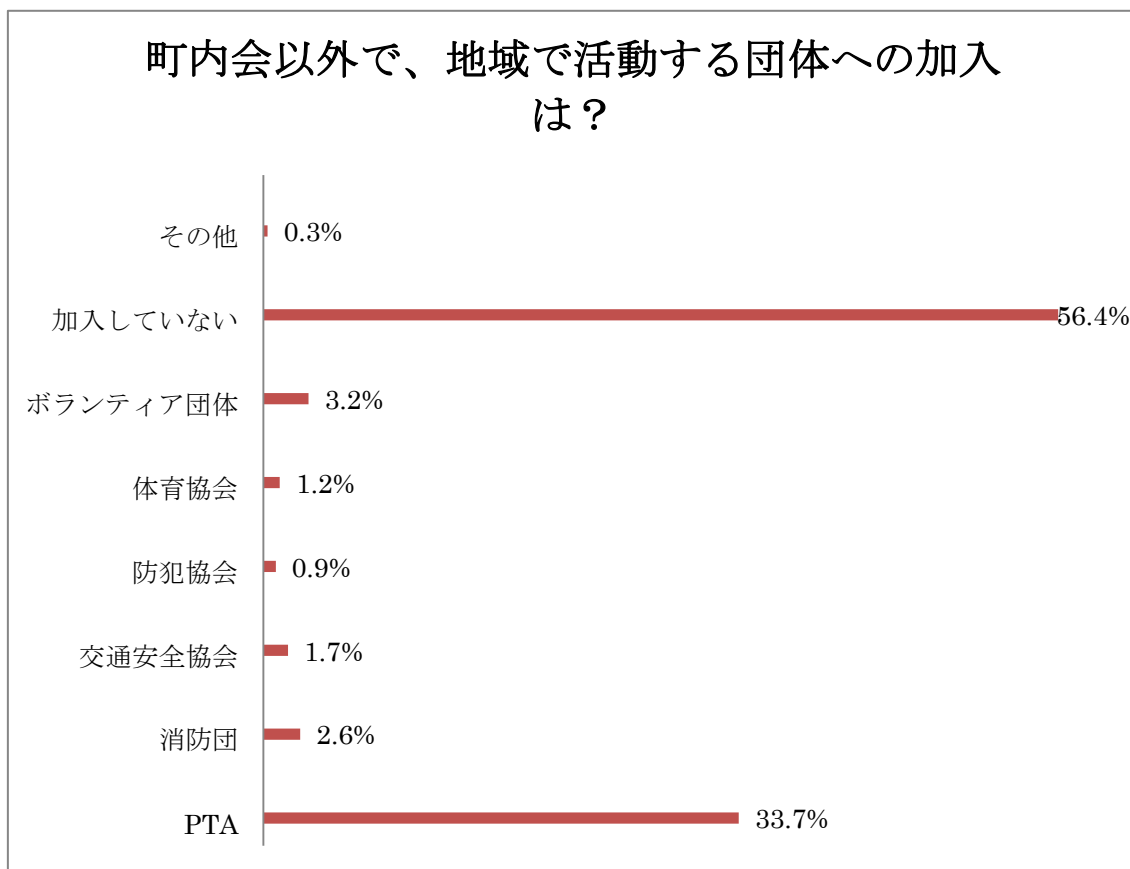


「役員や会員の高齢化」、「運営を担う人材の不足」で半数近くが占められている。

【自由記述欄】

- 事業、行事の形骸化
- 同じ町名なのに、町内会が分かれているため、連携がとれない。
- 子どもの数が年々少なくなり、親の負担が大きい。
- 次代の若者たちが今と同じコミュニティの関係性を希望しているとは思えない。

### 町内会以外で地域活動する団体への加入は？

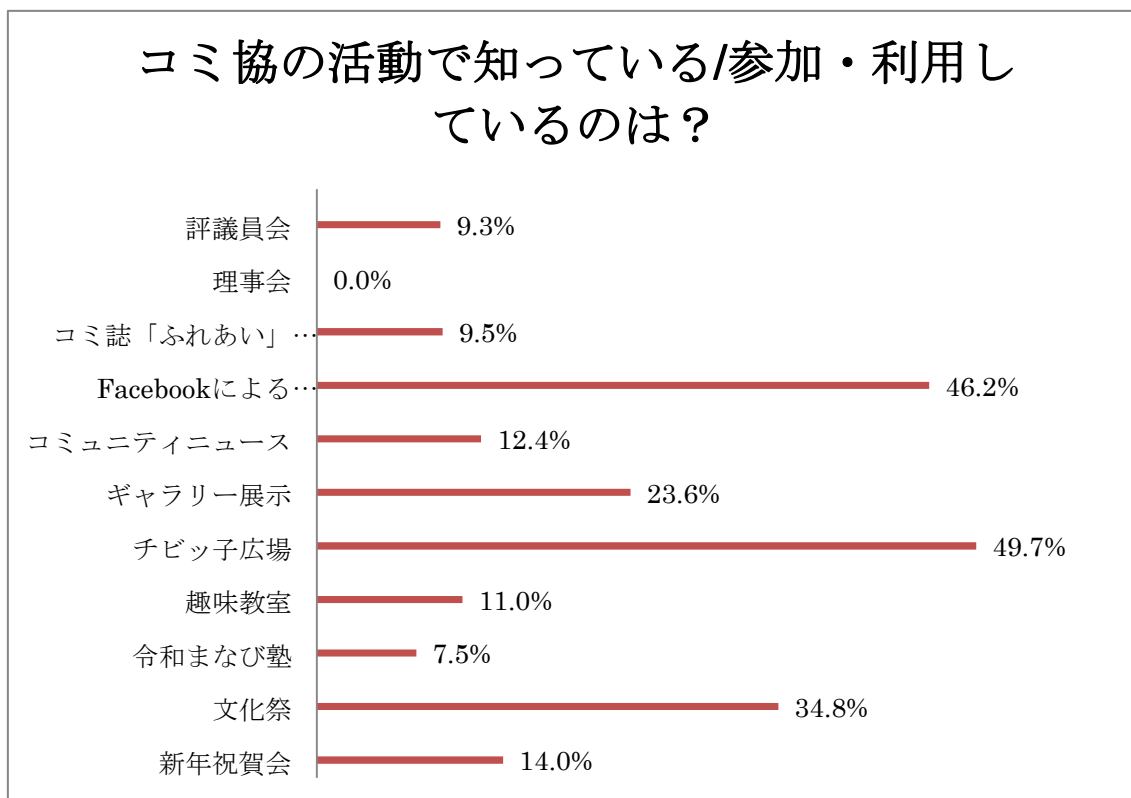


回答者が「子育て世代」ということもあり、「加入していない」について、PTAに参加している方々が30%以上見受けられた。

## コミ協編

このグラフはコミ協が行っている代表的な行事について回答を求めたものである。「知っているか？かつ参加、利用したことがあるか？」をグラフ化してみた。

そのため、「存在は知っているけれど利用したことがない」ものはパーセンテージが低く表示される。



「評議員会」(年1回・評議員会開催)は現役世代でも役割を果たすことが出来るため、そのためか9%の方が知っており、かつ参加しているという結果が出ている。

「理事会」が0%というのは実際に各町内会・団体などから選出される理事に、この「子育て世代」回答者層が参加しておらず、したがって現時点ではコミ協の事業計画や事業活動(委員会活動)への参加もしていない(知らない)という結果になっていると思われる。

「Facebookによる情報発信」はもともとFacebookアカウントを持っていないと閲覧ができないため、「知っている人数」はまだ少ない。が、「知っている」とした方の多くは利用・閲覧している傾向がうかがえる。

コミ誌「ふれあい」、「コミュニティニュース」は歴史も長く、存在も知られているが、「利用している」と回答したパーセンテージが低い傾向にある。アンケートの回答者層は日常的にSNSの利用率が高いので、紙媒体、かつ発行頻度からして即時性のないものは利用されにくいのかもしれない。

「チビッ子広場」は小学生を対象とし、一部保護者も参加できる内容であったため、認知度、利用度とも高く、利用率はほぼ50%となった。

「文化祭」、「ギャラリー展示」も学区住民を対象に、広く参加、利用を促している活動なので、利用率は比較的高めである。(チビッ子広場や学童保育所の作品群の展示もあるので。)

「趣味教室」、「令和まなび塾」といった住民学習講座は、その多くが平日に開催されるため、子育て世代で働いている方々には「知っていても物理的に参加しにくい(できない)」状態になる。(告知も紙媒体に依存する部分が多いため、情報が届いていない可能性もある。)そのような状況を想定し、「令和まなび塾(土日単発講座)」は「土日に限定してひとつから受講できる」仕組みを新たにつくったが、認知度がまだ低いこと、今年度は新型コロナウイルスの影響で複数の講座が中止となって受講できなくなった状況もあり、パーセンテージの向上は、年間の講座が予定通り実施できてから、と思われる。

「新年祝賀会」は他地区の「新年交流会」のように誰でも参加できるというのではなく、「新年祝賀会」の参加対象が限定されることから、子育て世代からすると「あまり縁がない」行事となっている可能性がある。

他学区の「新年交流会」のようにオープンな形で行われるのが望ましいのか(例えば個人が家族で足を運んで楽しめるような形とか)、行事の目的をどのように位置づけるかで今後の実施要領が将来的に見直されることも考えられる。

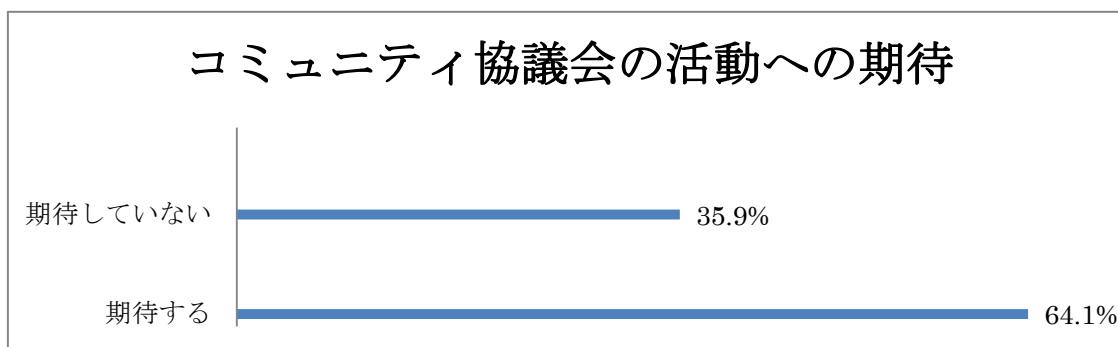
#### 【自由記述欄】(抜粋)

- チビッ子広場は毎回とても楽しい経験をさせていただき、感謝しておりました。早く状況が落ち着いてまた再開できますように!
- ギャラリー展示も素敵な作品が沢山あって楽しみにさせてもらっていました。
- こんなにいろいろあるのは知らなかった。
- 一部の行事は限られた人が対象になっている?
- 子どもが小学1~4年までチビッ子広場でお世話になりました。色々な分野の先生方にご指導をいただき、なかなか経験できないような事を学ばせていただきました。お茶やお琴の作法を覚えたこと、大山下池のハイキングが思い出深かったようです。子ども達の指導は大変のことと思いますが、今後も続けていっていただきたいと思います。

### 【Facebook を使った情報発信へのアイデアなど（自由記述）】（抜粋）

- 「コミ協だけでなく学区内の町内会が企画する行事の予告や紹介」はやった方がいいと思います。
- コミュニティ協議会の活動や仕事内容がよくわからないので、踏み込めない。活動や仕事を紹介してほしい。
- まだまだごく一部の方々しか認知していない。認知不足
- 「〇月から〇〇を行う予定ですが、これに対しアイデアをお聞かせください。」といった意見やアイデア募集はいいと思います。
- FB でやっているという、そもそもの広告がないと思うので、子ども会を通じて情報の周知をした方が良くと思います。
- まずは Facebook を使っていることを周知してはどうかと思います。
- 子どもを通して一緒に行事を行い、親同士、子ども同士、常日頃からコミュニケーションをとり、町単位じゃなく、学区単位で行事を行う。キャンプや海水浴など自然に触れる行事を多数行い、「鶴岡は何もない場所」という思考を変えていくことが大事かと。
- 今月、来月の予定を掲載し、紹介する。コミセンの利用状況を掲載する。
- Facebook の利用者は減っているので情報発信する場所は考えるべき。Twitter や Line の方がよく見ているから、と言いたい全員どちらか使っているとも言えないので再考すべき。
- 防災についての情報や取り組み方・活動、防犯についての情報や取り組み方・活動 ・コロナウイルスに対しての取り組み、対処、活動 ・地域の（ゴミのポイ捨てなど）環境保全・美化についての取り組み活動 ・子どもの成長を見守るため、また、地域としての連携を図るための活動などの記載 ・高齢者を援助するためのたすけあいの呼びかけ等
- Facebook の件は初めて知りました。広くお知らせしてはどうでしょうか？
- こんな事をしてほしいとかを言うことが気軽に言い合えればと思う。この場所が危ない、とか公園に時計がほしいとか、町に公園がなくて困っているとどこに言えばいいのかわからないので。
- 最近 Facebook より Instagram の方が若い人は見るので Instagram も始めた方がいいと思います。

これから5～10年後を考えた場合、コミュニティ協議会にはどのような活動を期待しますか？

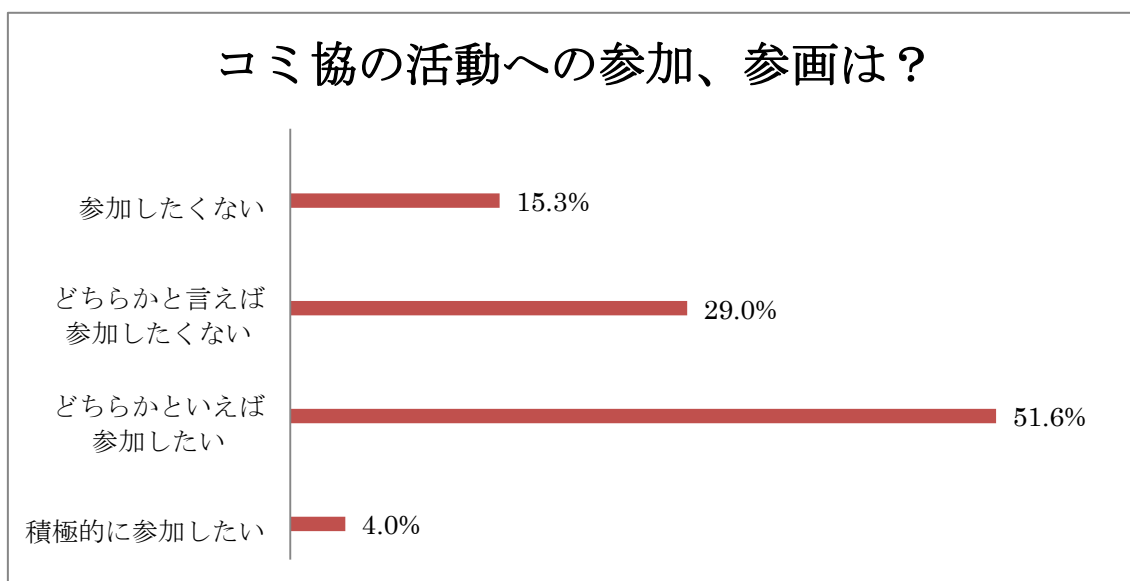


【自由記述欄】(抜粋)

- 鶴岡に愛着がわくようなイベント
- 情報発信と地域の活性化(熱意)
- 県外から来た人たちにも情報が伝わりやすく利用しやすいような活動を期待。
- 子育て世代にとって年長者からのアドバイスいただける場になってほしい。
- 若い世代も楽しめる催しがあるといいのでは
- 地域の方が気軽に参加できる活動(今の活動もとても素晴らしいと思います。)で、人との関りが持てるとよい。
- 子育て相談できる機会をつくる。コミセンでできなければ、市との連携で、いろんな企画に来てみませんか?とか
- 人と人とのつながりがリアルからバーチャル+リアルに変わってきていると思う。そこに対応した何かができれば良いと思う。
- 若年層も含めた交流行事
- 高齢者に偏ることなく講座を行ってほしい。世代交流のためにも土日がよいのでは?
- 防災の要として、その役割はますます大きくなっていくと思われます。
- 顔の見える関係を作ったり、災害時の協力など、地域の協力は必要だと思うので、その一助を担ってもらえたらと思います。
- 若い人も参加しやすい体制になれば良いのではないかと思う。
- コミ協が何をしているかよくわからない。一部の人たちで活動していて全体が見えない。
- 親子で参加できるものがあればしてみたい。
- もう少し多くの人に親しまれるような活動を作っていくことが出来ればもっとよくなるのでは?
- 協議会というものをはじめて知りました。
- 子どもからお年寄りまで楽しめる企画、活動。 ・地域の防犯、防災への関心と行動。



## 協議会の活動そのものに参画、参加したいでしょうか？



参加が困難という理由の多くは「仕事や子育てで忙しい」、「時間がとれない」など。

ただし、開催を土日主体、親子でも参加などの工夫や将来的にオンラインやSNSを使った「時間と場所に制限されない」参加の仕組みをつくるなど、可能性はある。なにより前ページの「期待する」というパーセンテージが60%を超えており、活動への参加、参画も半数を超えている。

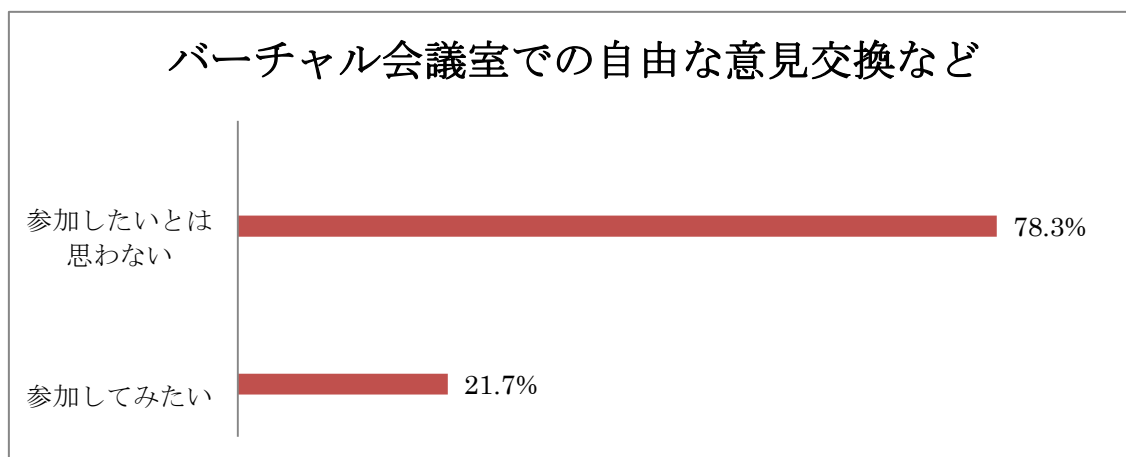
鶴岡市内に限定せず、他県、他地域に目を向ければ、「仕事や子育てに忙しい」世代でも参加・参画可能な「仕組み」既に持っていたり、「仕組みづくり」をする、「仕組みを支える」組織があるコミュニティも存在する。

### 【自由記述欄】(抜粋)

- 地域を活性化しエネルギーに住民が活動、集うコミュニティを望む。
- まだ働いている時期で参加するまでの余裕はないと考えている。
- 若い世代も楽しめる催しがあるといいのでは。
- 子ども達の行事や予定に合わせているため、なかなか活動への参加はできていないが協力したいとは思っています。
- 良いと思うものがあれば随時参加します。
- 鶴岡市は暗黙のルールが多く、面倒だから。
- いろいろな趣味の活動をもっと取り入れてもらいたい。働いている人のことも考え、土日も多く企画してほしい。
- 仕事、子育てで余裕がないため、時間ができたら家族とゆっくりしたい。

## バーチャル会議室の開設

例えば SNS で参加できるバーチャルな意見交換の場を開設し、自由な意見交換や協議会の運営、行事の企画に参加できるとしたら参加してみたいですか？



「参加してみたい」とした方々は 70 名近く存在する。これは非常に頼もしい数字。

否定的な意見も、その理由としては「コミ協云々」ではなく、SNS に対するネガティブなイメージや思い込みからくるものが見受けられ、例えば匿名性を確保するのか、実名で行うのかなどルール設定と投稿内容を運営側で管理できれば、「このやり方なら参加したい」となる可能性もある。「参加したい」とした方々は、「時間や場所の制約がない」、「居ながらにして多くの人の考えを知ったり、情報交換が可能」など前向きな声が見受けられた。コミ協側の課題としては、従来の事業活動は理事による委員会に委ねられている。そのため「バーチャル会議室」などといった新たな外部からの意見や提案が行われたとしても既存の委員会がそれを取り入れることをしなければ現状は変わらない。「バーチャル会議室」が具現化した際、そこからの意見、アイデアなどを「活かす」という姿勢と、それを支える「仕組み」が必要と思われる。

現状の委員会も「従来行ってきた活動」の繰り返しに終始することなく、コミ協の方針や、それと連動する単年度の活動目標と一致していることが必要と思われる。

課題としては、「バーチャル会議室」を運営する際、SNS に精通しているメンバーが、コミ協組織内にほとんど存在しないという状況がある。すでに先行している他の地域でも、SNS について「あんなもの（SNS）は使う必要はない、使う人は少ない。」と否定的な判断・行動をとる傾向があると指摘されていた。そのため SNS に代表されるような新しいツールの理解を図る際は勉強会で理解を深めるとともに、組織が一体となって日常の業務場面での利用の促進を図る必要がある。

ちなみに 2020 年 8 月に行われた、鶴岡市の「鶴岡市地域コミュニティ活性化推進委員会」（鶴岡市のホームページ上で議事録などが公開されている。）の中で、「コロナ禍で始まる次の 5 年間とあわせて、若い世代を巻き込む・情報共有を含め、SNS、オンライン、リモ

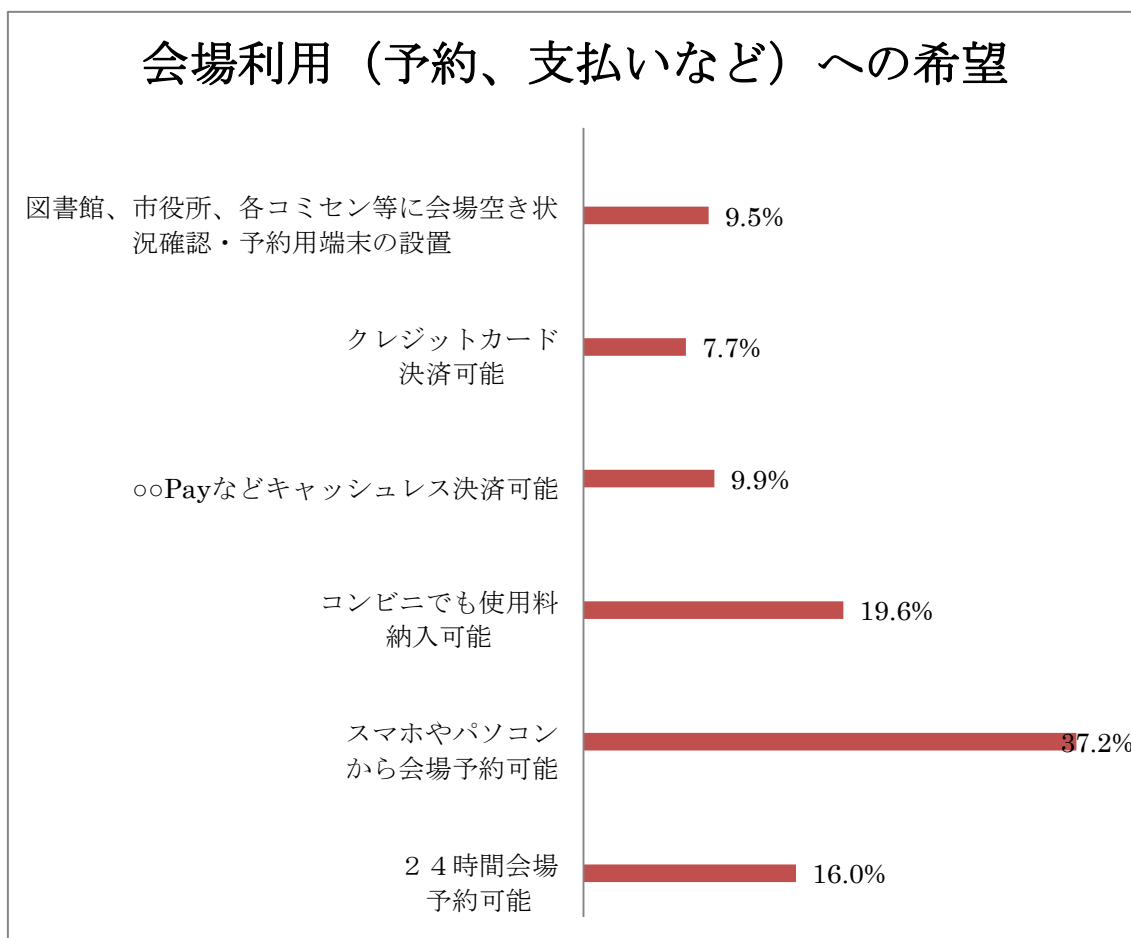
ートを皆さんがツールとして使えるような環境を整えていかないと、コミュニティ活動だけが遅れて行ってしまう。学校教育、職場が進むのに、地域の現場が進まないということになると、立ち遅れが出てしまうのかなど。それをしてはいけないので、環境を整えたり、SNSに抵抗を感じている人もいると思うので、SNSを学ぶ機会を作ることも喫緊の課題かと思う。」（活性化推進委員会・委員長の発言より）という記述もある。

情報伝達の効率化、情報共有の高速化、さらには中高生、大学生、そして「子育て世代」からの意見収集など、SNSやホームページを利用した情報発信や意見集約を行う仕組みづくりと、それを支える組織が、協議会としても早急に必要ではないかと思われる。

#### 【自由記述欄】

- SNSでもモラルを優先した意見交換の交流の場となるような運営・活動・広報（住民自身のモラルの向上に向けて）
- SNSはあまり信用できない。主に友人との交流で使用している。
- 顔を出したらバーチャルでも本当の意見は言えない。意見を言ったとしても何も変わらないと思うから。
- SNSを活用した場では様々な意見が出ると思うので興味がある。
- このご時世なので参加しやすくなると思います。
- どんな意見が交わされているのか知りたい。
- SNSでつながり、参加できるなら、更に様々な人材が集まりそうだと期待できる。
- 内容によると思います。見てみたい思いはありますが「意見」とかになると少し重たい感じです。
- 実名での発言を嫌う人がいるかもしれないけど・・・（でも参加してみたい）
- SNSだけの意見交換だけでは誤解が生じやすいと思います。
- 興味があり、時間もあれば参加してみたいとは思う。
- どこの誰かわからない人と話しにくい。バーチャルでやる意味があるのか？
- 平日は仕事で会議など参加は無理。SNSなら参加しやすい。
- 参加しやすいかなと思う。
- 匿名性は必要になると思います。
- その日に、その時間に、というのは無理だけど参加してみたい。
- 直接会場に向かわなくても参加できるのであればしてみたい。
- 入りやすい。意見を言いやすい。
- 個人情報が確保されるのなら（参加してみたい）

現在、第三コミセンの会場利用は、予約は電話または来館、申込書記入後、使用料の支払いは指定金融機関の営業時間内に窓口に行って現金支払いを行うようになっています。将来的に会場利用の手続きで望ましいとお考えの方法がありましたら、該当するものに「○」をお願いします。(いくつでも)



この項目は仕組みやシステムを作る市への要望でもある。

「空き状況の確認」、「仮押さえ」、「利用申込書記入」など、従来は事前に電話や来館することが前提の仕組みとなっている。しかしながら使用料納付だけでも「平日日中の金融機関の窓口に行って支払い」というのは「働いている世代」にとっては利便性ははなはだ悪いと思われる。

片や日常の暮らしの中では新型コロナウイルス感染予防の観点から、スーパーやドラッグストア、飲食店などでも非接触型のオーダー、決済方法が推奨され、キャッシュレス決済も浸透してきている。

それらと同等の感覚で施設利用を考えると、現在の「空き状況確認」、「予約」や「申込み」はかなり旧態依然としている、利用者の利便性が考慮されていないなど、不満があるのではないかと。

上記に上がっている方法は、我々の日常生活の中で既に使われている（他市では既に施設

使用にも導入済み) 仕組みである。

システム改変は一朝一夕にできるものではないが、利用者の声を聞きつつ、将来にも通用する仕組みづくりが行われることを行政には期待したい。

ひとつのコミセンだけで単独運用するものではなく、鶴岡市のコミュニティ施設の利用方法を共通化、標準化することがシステム導入の前提条件となる。また「新型コロナウイルス感染予防」のためにも、窓口での接触機会を極力回避し、しかも利便性は向上できるような仕組みの導入が望ましい。

市(コミュニティ推進課)には住民側の希望として伝え、実際に使用する学区住民の利便性向上についても検討していただく必要があると考える。

#### 【自由記述欄】

- IT を活用した予約システムを希望するが、予約者が節度を持った予約をするような注意喚起も必要
- スマホ等から空き状況の確認が出来ると利便性があがる。
- 使用料の支払いは直接第三コミセンでもできるようになれば、より選択肢が増えると思う。
- デジタル化にしてもらいたい
- 指定金融機関の営業時間内に、というのは不便。金融機関の支店統合なども進んでいるので、コンビニ支払いできたらすごく便利でよいと思う。
- 子どもがメインの使用は0円にする等
- 団体の登録などもわかりやすく簡単に出来るといい。学区のひとつだけじゃなくても、もう少し利用料が使いやすい料金だとありがたい。
- 銀行の支店も減っているので様々な入金方法があると良い。今はスマホで予約は当たり前では？
- スマートフォンや PC の勉強や講習を定期的にしてくれる場があるとうれしいです。
- 来館し申込書を記入せず、申込みを完結できる仕組みがあると良いと思います。

### 第三学区コミュニティ協議会へのご意見・ご提案（自由記述）（抜粋）

- 中高生の自習の場が少ないので、そういう場があるとよいかと思う。
- 小中高生サポーターを設け、役員や広報の一部を担当してもらってはどうか。
- 事務局体制の充実。役員の持ち回りでも可。
- 地域の交流の場として、様々な活動を支え運営していただいていること、誠にありがとうございます。交流を持つことがとても難しい時代ですが、時代の変化に対応して工夫されながら活動されることを期待しています。
- 前向きなアンケート、ありがとうございます。より良くしていくには大変なご苦勞があると思いますが、がんばってください。期待しています。
- （町内会も高齢化しつつあるが）コミ協自体の高齢化ということはないか？SNSなどで幅広い意見を取り入れて活動してほしい。
- 数年後のあるべき姿と、そのために今年は〇〇をやる、など、（コミ協の）方針と活動がわかりにくい。
- コミュニティの活動なのでSNS等のバーチャルよりも生身の人と人との交流を充実させる（リア充？）方向に重点を置いてほしいと思う。
- 将来を考えて、このようなアンケートの取り組み、大切だと思いました。
- コミュニティ協議会に限った話ではありませんが、年長者の意見が通りやすい構造にあるので、こうして子育て世帯の意見をきいていただけるのは良かったです。
- お互いに助け合うことができる地域になることができるように協議会の方に活躍していただきたいと思います。
- 第三学区に住む高齢の方も、これからの若い方も明るく不便のない生活が送れる活動を、これからも期待しています。
- 少子高齢化、人口減少、非対面接触、IT化等の時代の潮流に合わせ、現代の若者の思考に沿った仕組みづくりをお願いします。
- 地域活動や子どもの部活動の集まりなどでコミセンを使わせていただき、とても助かっています。今後もより予約しやすく利用させていただければ地域の活性化につながると思います。
- 町内会費の一部がコミ協に行くとしたら、コミ協の運営や企画も子育て世代の声も反映しては？SNSで声を聞く方法もあるはず。
- そもそもコミ協というのも初めて聞きました。せっかくの活動なのにあまり知られていない、周りと話しても一度も話題になったことがないです。もったいないですね。もっと周知されることが先決だと思います。
- 回覧板をSNSにしたほうが良いと思う。件数、増えすぎている。町内会費もコンビニ支払いが間違いがないと思う。
- コミュニティ協議会がどのようななどのような目的で活動しているかをあまり知らないなので、前向きな回答ができませんでした。ごめんなさい。